

Catalystスイッチのコンソールポートへの端末接続について

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[Catalyst 1900/2820、2900/3500XL、2940、2950/2955、2970、3550、3560 および 3750 シリーズスイッチへの端末の接続](#)

[端末への接続](#)

[Catalyst スwitchのコンソールポートに端末を接続する方法](#)

[コンソールポートのピン配置](#)

[Catalyst 2926 および 2926G シリーズスイッチへの端末の接続](#)

[Catalyst 2926G シリーズスイッチ](#)

[Catalyst 5500/5000 Supervisor Engine IIIのコンソールポートへの端末の接続](#)

[コンソールポートへ接続するための端末の設定](#)

[Catalyst 5500/5000 Supervisor Engine II G および III G コンソールと RSFC ポートへの端末の接続](#)

[コンソールポートのモードスイッチ](#)

[コンソールまたは RSFC ポートへ接続するための端末の設定](#)

[Catalyst 4500/4000 Supervisor Engine I コンソールポートへの端末の接続](#)

[Catalyst 4500/4000 Supervisor Engine II/II+/III/IV、2948G、2980G および 4912G への端末の接続](#)

[Catalyst 6500/6000 Supervisor Engine I、II、および 720 コンソールポートの信号とピン配置](#)

[コンソールポートのモードスイッチ](#)

[コンソールポートモード1信号およびピン配置](#)

[コンソールポートモード2の信号とピン配置](#)

[Catalyst スwitchのコンソールポートへの端末接続に関するトラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、管理端末の接続と設定にデフォルトパラメータを使用する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Catalyst 1900、2820、2900、3500、2940、2950、2970、3550、3560、2948G-L3、4500/4000、4840G、4908G-L3、5500/5000、6500/6000シリーズスイッチ

上記スイッチでは、コンソールポートに端末を接続するため、ロールオーバーまたはストレート RJ-45 ケーブルのいずれかを使用する必要があります。使用するケーブルは、スーパーバイザエンジンとその他の要因によって異なります。ロールオーバーケーブルとストレートケーブルのピン配置は、スイッチ間の 10/100BASE-TX イーサネットポートを接続できるクロスケーブルとは異なっています。使用するケーブルのタイプを識別するには、『[コンソールおよびAUXポートのケーブル要件の設定](#)』を参照してください。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、「シスコ テクニカル ティップスの表記法」を参照してください。

背景説明

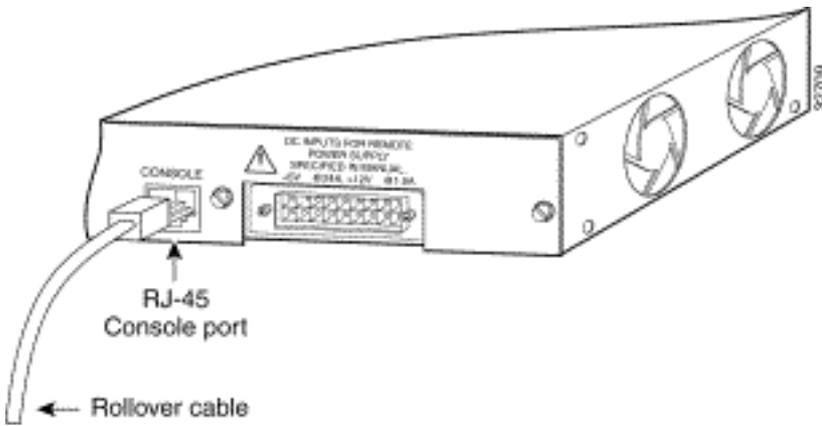
このドキュメントでは、管理用端末の接続と設定をするためのデフォルトパラメータの使用を中心に説明しています。このドキュメントでは、Catalyst 1900、2820、2900、3500、2940、2950、2970、3550、3560、2948G-L3、4500/4000、4840G、4908G-L3、5500/5000、および 6000 について説明します。6500/6000シリーズスイッチ

Catalyst 1900/2820、2900/3500XL、2940、2950/2955、2970、3550、3560 および 3750 シリーズ スイッチへの端末の接続

同梱されていたロールオーバーケーブルと DB-9 アダプタを使って、スイッチのコンソールポートに PC を接続します。端末にスイッチのコンソールポートを接続する場合は、RJ-45-to-DB-25 メス型 DTE アダプタを準備する必要があります。このアダプタが同梱されているキット（部品番号 ACS-DSBUASYN=）は、シスコに注文できます。PC または端末は、VT100 ターミナルエミュレーションをサポートしている必要があります。ターミナルエミュレーションソフトウェア（Microsoft Windows HyperTerminal または Symantec Procomm Plus などの PC アプリケーション）を使用すると、セットアッププログラム実行中、スイッチと PC 間またはスイッチと端末間の通信が可能になります。

PC または端末をスイッチに接続するには、次の手順を実行します。

1. ハードウェアフロー制御を使ってスイッチと通信するように、PC またはターミナルエミュレーションソフトウェアを設定します。
2. 次のコンソールポートのデフォルト特性に一致するように、PC または端末のボーレートと文字フォーマットを設定します。9600 ボー8 データビット1 ストップビットパリティなし
3. 付属のロールオーバーケーブルを使用して、RJ-45コネクタをコンソールポートに挿入しま



す。 ← Rollover cable

4. 付属のRJ-45-to-DB-9メス型DTEアダプタをPCに接続するか、適切なアダプタを端末に接続します。
5. 同梱されていたロールオーバー ケーブルのもう一方の端を、接続したアダプタに挿入します。
6. PCまたは端末を使用している場合は、ターミナルエミュレーションプログラムを実行します。

表A-1：コンソールポートの信号とDB-9アダプタとのケーブル接続

コンソール ポート (DTE) 信号	RJ-45-to-RJ-45ロールオーバーケ ーブル		RJ-45-to-DB-9 ターミナル ア ダプタ	コンソール イス 信号
	RJ-45 ピン	RJ-45 ピン	DB-9 ピン	
RTS ¹	1	8	8	CTS ²
接続なし	2	7	6	DSR
TxD ³	3	6	2	RxD ⁴
GND ⁵	4	5	5	GND
GND	5	4	5	GND
RxD	6	3	3	TxD
接続なし	7	2	4	DTR ⁶
CTS	8	1	7	RTS

¹RTS =送信要求

²CTS = Clear To Send

³TxD =送信データ

⁴RxD =受信データ

⁵GRD =アース

⁶DTR = Data Terminal Ready

端末への接続

薄いフラット型 RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバー ケーブルと RJ-45-to-DB-25 メス型 DTE アダプタを使って、コンソール ポートを端末に接続します。表A-2に、コンソールポート、RJ-45-to-RJ-45ロールオーバーケーブル、およびRJ-45-to-DB-25メス型DTEアダプタのピン配置を示します。

注:RJ-45-to-DB-25メス型DTEアダプタはスイッチに付属していません。このアダプタが同梱されているキット (部品番号 ACS-DSBUASYN=) は、シスコに注文できます。

表A-2：コンソールポートの信号とDB-25アダプタとのケーブル接続

コンソールポート (DTE) 信号	RJ-45-to-RJ-45ロールオーバーケーブル RJ-45 ピン	RJ-45 ピン	RJ-45-to-DB-25ターミナルアダプタ DB-25 ピン	コンソールポート 信号
RTS	1	8	5	CTS
接続なし	2	7	6	DSR
TxD	3	6	3	RxD
GND	4	5	7	GND
GND	5	4	7	GND
RxD	6	3	2	TxD
接続なし	7	2	20	DTR
CTS	8	1	4	RTS

Catalyst スイッチのコンソールポートに端末を接続する方法

コンソールポートへの直接コンソール接続から、または管理ポートを介してリモートで、Catalyst スイッチルータを設定できます。

- RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブルと、(「Terminal」ラベルが付いた) RJ-45-to-DB-9 メス型 DTE アダプタを使って、コンソールポートを、ターミナルエミュレーションソフトウェアを実行している PC に接続します。
- 直接コンソール接続を使用している場合、ターミナルエミュレーションプログラムを、9600 ボー、8 データビット、パリティなし、1ストップビットに設定します。

コンソールポートのピン配置

コンソールポートは、RJ-45 レセプタクルです。DTR と DSR ハンドシェイク信号がサポートされています。RTS信号はCTS信号の状態を追跡します。表B-1に、コンソールポートのピン配置を示します。

表B-1：コンソールポートのピン配置

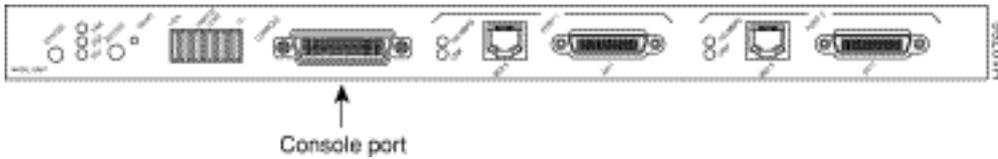
ピン	信号	方向	説明
11	RTS/CTS	出力	送信要求/送信許可
2	DTR	出力	データ端末レディ
3	TxD	出力	データ送信
4	SGND	-	シグナルグラウンド
5	SGND	-	シグナルグラウンド
6	RxD	入力	データ受信
7	DSR	入力	Data Set Ready
81	RTS/CTS	入力	送信要求/送信許可

¹ピン1はピン8に接続されています。

Catalyst 2926 および 2926G シリーズ スイッチへの端末の接続

Catalyst 2926シリーズスイッチでは、スーパーバイザエンジンの前面パネルにコンソールポートがあります。次の図に示すように、ポートには「CONSOLE」というラベルが付いています。

図：コンソールポートコネクタ (Catalyst 2926シリーズスイッチ)



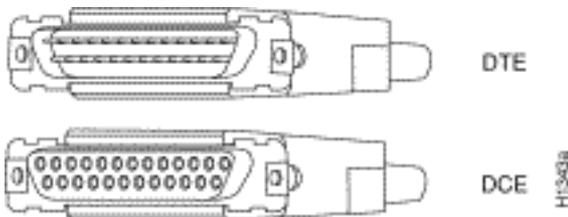
スーパーバイザ エンジン コンソール ポートは、DCE EIA/TIA-232 インターフェイスをサポートしている DCE DB-25 レセプタクルです。EIA/TIA-232 は、最大 64 Kbps の信号速度で非平衡回線をサポートしています。

コンソール ポートを接続する前に、ボー レートを決定するために端末のドキュメントをチェックしてください。端末のボー レートは、スイッチのコンソール ポートのデフォルトのボー レート (9600 bps) と一致している必要があります。次のように端末を設定します。

- 9600 bps
- 8 データ ビット
- パリティなし
- 1ストップビット

端末や PC などの DTE デバイスにスイッチを接続するには、ストレート ケーブルを使用します。モデムや Data Service Unit (DSU; データ サービス ユニット) などのリモート DCE デバイスにスイッチを接続するには、ヌル モデム ケーブルを使用します。DCE および DTE ケーブル コネクタについては、次の図を参照してください。

図：EIA/TIA-232 アダプタ ケーブル コネクタ、ネットワーク エンド



注：コンソールポートは非同期 (非同期) シリアルポートです。このポートに接続するすべてのデバイスは非同期伝送が可能である必要があります。

システム実行時、DSR と Data Carrier Detect (DCD; データ キャリア検出) は両方ともアクティブです。RTS 信号は、CTS 入力の状態を追跡します。コンソール ポートは、モデム制御あるいはハードウェア フロー制御をサポートしません。表 C-1 には、コンソール ポートのピン配置を掲載しています。

表C-1:Catalyst 2926シリーズコンソールポートのピン配置

ピン	信号	方向	説明
1	GND		グラウンド
2	RxD	→	データ受信
3	送信D	←	データ送信
4	CTS	←	送信許可
5	RTS	→	リターン送信
7	GND		グラウンド
8	DTR	→	データ端末レディ
20	DCD	←	データ搬送検出

Catalyst 2926Gシリーズスイッチ

次の図は、Catalyst 2926G シリーズ スイッチの前面パネルにあるコンソール ポートと Auxiliary (AUX; 補助) ポートを示しています。

注：現在、AUXポートはサポートされていません。

図：コンソールおよびAUXポートコネクタ



RJ-45 コネクタを備えた EIA/TIA-232 非同期シリアル ポートであるこのコンソール ポートは、ハードウェア フロー制御を備えたフル機能搭載の DTE 接続です。

薄いフラット型 RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバー ケーブルで次のいずれかのアダプタに、端末を接続します。

- RJ-45-to-DB-9 アダプタ
- RJ-45-to-D-subminiature メス型アダプタ
- RJ-45-to-D-subminiature オス型アダプタ

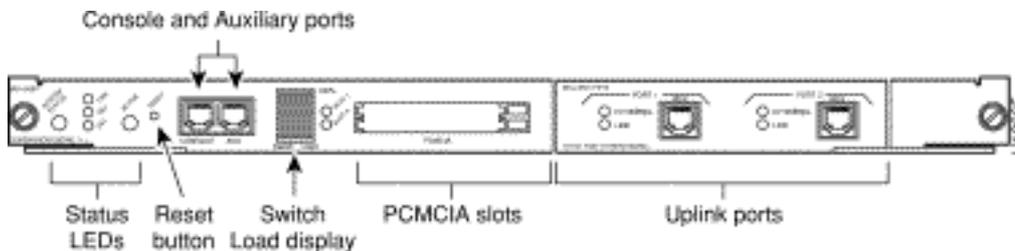
注：使用するアダプタは、端子コネクタによって異なります。

表C-2:Catalyst 2926Gシリーズコンソールポートのピン配置

コンソール ポート ピン (信号)	コンソールデバイス 接続先
1はピン8にループしています -	
2 (DTR)	DSR
3 (RxD)	TxD
4(GND)	GND
5 (GND)	GND
6 (TxD)	RxD
7 (DSR)	DTR
8はピン1にループしています -	

注:Catalyst 2926Gシリーズスイッチに同梱されているコンソールポートアクセサリキットに、RJ-45-to-RJ-45ロールオーバーケーブルとアダプタがあります。

Catalyst 5500/5000 Supervisor Engine III コンソール ポートへの 端末の接続

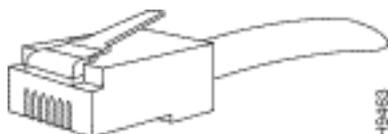


スーパーバイザエンジンの前面パネルにポートがあります。前の図に示すように、ポートには「CONSOLE」というラベルが付いています。このポートは、ハードウェアフロー制御を備えたEIA/TIA-232非同期、シリアル、フル機能のDTE接続、およびRJ-45コネクタです。端末やPCなどのDTEデバイスにスイッチを接続するには、ストレート型ケーブルを使用します。

注：スーパーバイザエンジンIII用の交換用コンソールポートアクセサリキットが必要な場合、部品番号はCAB-S3-CONSOLE=です。

注:AUXポートはサポートされていません。

図：EIA/TIA-232 RJ-45アダプタケーブルコネクタ



表E-1：スーパーバイザエンジンIIIコンソールポートのピン配置RJ-45-to-DB-25アダプタケーブル

スイッチ コンソール (DTE) の RJ-45 (ストレート ケーブルを使用) 端末の DB-25 (DTE)	
1 RTS (ピンにループ)	-
2 DTR	6 DSR
3 RxD	2 TxD
4 GND	7 GND
5 GND 4 につなぐ	7 GND
6 TxD	3 RxD
7 DSR	20 DTR
8 CTS (ピン 1 にループ)	-

表E-2：スーパーバイザエンジンIIIコンソールポートのピン配置RJ-45-to-DB-9アダプタケーブル

スイッチ コンソール (DTE) の RJ-45 (ストレート ケーブルを使用) 端末の DB-9 (DTE)	
1 RTS (ピンにループ)	-
2 DTR	6 DSR
3 RxD	3 TxD
4 GND	5 GND
5 GND 4 につなぐ	5 GND
6 TxD	2 RxD
7 DSR	4 DTR
8 CTS (ピン 1 にループ)	-

コンソール ポートへ接続するための端末の設定

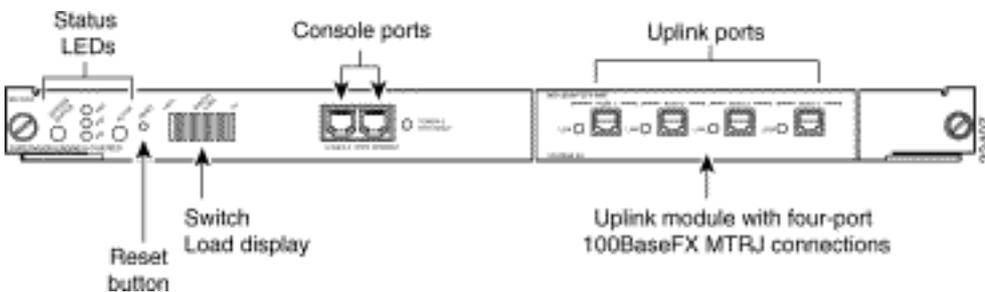
注：コンソールポートは非同期（非同期）シリアルポートです。このポートに接続するすべ

てのデバイスは非同期伝送が可能である必要があります。

コンソールポートを接続する前に、ボーレートを決定するために端末のドキュメントをチェックしてください。端末のボーレートは、コンソールポートのデフォルトのボーレート（9600ボー）と一致している必要があります。次のように端末を設定します。

- 9600ボー
- 8 データビット
- パリティなし
- 1ストップビット

Catalyst 5500/5000 Supervisor Engine II G および III G コンソールと RSFC ポートへの端末の接続



スイッチコンソールポートとRoute Switch Feature Card(RSFC)コンソールポートは、スーパーバイザエンジンの前面パネルにあります。上の図に示すように、ポートにはそれぞれ「CONSOLE」および「RSFC」というラベルが付いています。どちらのポートも、ハードウェアフロー制御およびRJ-45コネクタを備えたEIA/TIA-232非同期、シリアル、フル機能のDTE接続です。

注:Supervisor Engine II GまたはIII G用の交換用コンソールポートアクセサリキットが必要な場合、部品番号はACS-2500ASYN=です。これは、他の多くのCiscoルータ（Cisco 2500シリーズを含む）に同梱されているものと同じキットです。

Supervisor Engine II GまたはIII Gのコンソールポートに接続するケーブルのタイプは、コンソールポートモードスイッチの位置によって異なります。詳細は、このドキュメントの「[コンソールポートモードスイッチ](#)」セクションを参照してください。

モデムなどのリモートDCEデバイスにスイッチを接続するには、ヌルモデムケーブルを使用します。Supervisor Engine II GまたはIII Gにリモートでアクセスする方法の詳細は、ドキュメント『[Catalystスイッチのコンソールポートにモデムを接続する方法](#)』を参照してください。端末やPCなどのDTEデバイスにスイッチを接続するには、ストレートケーブルを使用します。

コンソールポートのモードスイッチ

コンソールポートモードスイッチにより、端末（DTE）またはモデム（DCE）のいずれかへの接続が可能となります。接続は選択したモードと使っているケーブルによって異なります。

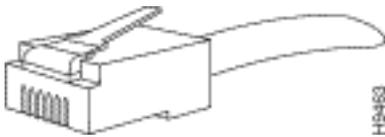
注：Supervisor Engine Module II GおよびSupervisor Engine Module III Gに付属のケーブルとアダプタは、Cisco 2500シリーズルータ（およびその他のシスコ製品）で使用するものと

同じです。

コンソールポートモードスイッチは次のように使用します。

- **モード1**：位置まで押します。スーパーバイザエンジンに同梱されているコンソールケーブルとDTEアダプタ（「Terminal」というラベルが付いています）を使用して、端末をポートに接続するには、このモードを使用します。このモードは、スイッチに同梱されているコンソールケーブルと（「Modem」というラベルが付いている）DCEアダプタを使って、モデムをポートに接続するためにも使用できます。
- **モード2**：out位置まで押し下げます。Supervisor Engine III コンソールケーブル（このケーブルは同梱されていません）を使って端末をポートに接続するのに、このモードを使用します。

図：EIA/TIA-232 RJ-45アダプタケーブルコネクタ



表F-1：コンソールポートの信号とDB-9アダプタとのケーブル接続

スイッチ コンソール (DTE) 信号	RJ-45 RJ-45ピン	RJ-45 ロールオーバーケーブル RJ-45ピン	RJ-45-to-DB-9アダプタ DB-9ピン	端末 (DTE) 信号
RTS	1 ¹	8	8	CTS
DTR	2	7	6	DSR
TxD	3	6	2	RxD
GND	4	5	5	GND
GND	5	4	5	GND
RxD	6	3	3	送信D
DSR	7	2	4	DTR
CTS	8 ¹	1	7	RTS

¹ピン1はピン8に内部接続されています。

表F-2：コンソールポートの信号とDB-25アダプタとのケーブル接続

スイッチ コンソール (DTE) 信号	RJ-45-to-RJ-45 RJ-45ピン	ロールオーバーケーブル RJ-45ピン	RJ-45-to-DB-25アダプタ DB-25ピン	端末 (DTE) 信号
RTS	1 ¹	8	5	CTS
DTR	2	7	6	DSR
送信D	3	6	3	RxD
GND	4	5	7	GND
GND	5	4	7	GND
TxD	6	3	2	TxD
DSR	7	2	20	DTR
CTS	8 ¹	1	4	RTS

¹ピン1はピン8に内部接続されています。

コンソールまたは RSFC ポートへ接続するための端末の設定

注：コンソールポートは非同期（非同期）シリアルポートです。このポートに接続するすべてのデバイスは非同期伝送が可能である必要があります。

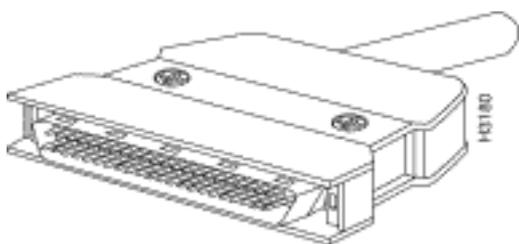
コンソールポートを接続する前に、ボーレートを決定するために端末のドキュメントをチェックしてください。端末のボーレートは、コンソールポートのデフォルトのボーレート（9600ボー）と一致している必要があります。次のように端末を設定します。

- 9600 ボー
- 8 データビット
- パリティなし
- 1ストップビット

Catalyst 4500/4000 Supervisor Engine I コンソールポートへの端末の接続

次の図のコンソールポートは、DCE EIA/TIA-232 インターフェイスをサポートしている DCE DB-25 レセプタクルです。EIA/TIA-232 は、最大 64 Kbps の信号速度で非平衡回線をサポートしています。

図：DCE DB-25コネクタ



モデムや DSU などのリモート DCE デバイスにスイッチを接続するには、ヌル モデム ケーブルを使用します。端末や PC などの DTE デバイスにスイッチを接続するには、ストレート ケーブルを使用します。

Catalyst 4500/4000 スーパーバイザ エンジン I のコンソールポートでは DB-25 コネクタが使われていて、DTR、DSR、CTS および RTS ハンドシェイク信号がサポートされています。表 G-1 に、Catalyst 4500/4000 スーパーバイザ エンジン I コンソールポートのピン配置を示します。

表G-1:Catalyst 4003コンソールポートのピン配置

ピン	信号	方向	説明
1	グラウンド		
2	RxD	入力	データ受信
3	TxD	出力	データの送信
4	CTS	入力	送信許可
5	RTS	出力	送信要求
7	グラウンド		
8	DTR	出力	データ端末レディ
20	DSR	入力	Data Set Ready

Catalyst 4500/4000 Supervisor Engine II/II+/III/IV、2948G、

2980G および 4912G への端末の接続

コンソールポートへの直接コンソール接続から、Catalyst 4500/4000 シリーズ スイッチを設定できます。

- コンソールポートを、ターミナルエミュレーションソフトウェアが稼働しているPCに接続するには、RJ-45-to-RJ-45口ールオーバーケーブルとRJ-45-to-DB-9メス型DTEアダプタ(「Terminal」というラベルが付いています)を使用します。直接コンソール接続を使用する場合は、ターミナルエミュレーションプログラムを9600ボー、8データビット、パリティなし、1ストップビット用に設定します。

表 H-1 は、スイッチ コンソール ポートのピン配置を示しています。端末や PC などの DTE デバイスにスイッチを接続するには、ストレート ケーブルを使用します。

表H-1:Catalyst 4500/4000 Supervisor Engine II以降、2948G、2980G、および4912Gコンソールポートのピン配置

ピン	信号	方向	説明
1	RTS	出力	送信要求
2	DTR	出力	データ端末レディ
3	TxD	出力	データ送信
4	グラウンド		
5	グラウンド		
6	RxD	入力	データ受信
7	DSR	入力	Data Set Ready
8	CTS	入力	送信許可

Catalyst 6500/6000 Supervisor Engine I、II、および 720 コンソールポートの信号とピン配置

Catalyst 6500/6000 シリーズ スイッチには、アクセサリ キットが同梱されています。このキットには、コンソール (ASCII 端末、またはターミナル エミュレーション ソフトウェアを実行している PC) またはモデムを、コンソールポートに接続するために必要なケーブルとアダプタが含まれています。アクセサリ キットには、次の品目が含まれています。

- RJ-45-to-RJ-45 口ールオーバー ケーブル
- RJ-45-to-DB-9 メス型 DTE アダプタ (「Terminal」というラベルが付いています)
- RJ-45-to-DB-25 メス型 DTE アダプタ (「Terminal」というラベルが付いています)
- RJ-45-to-DB-25 オス型 DCE アダプタ (「Modem」というラベルが付いています)

上記品目は、Cisco 2500 シリーズ ルータやその他の Cisco 製品に同梱されているケーブルおよびアダプタと同じものです。

コンソールポートモードスイッチ

スーパーバイザエンジンの前面パネルコンソールポートモードスイッチを使用すると、次の方法で端末またはモデムをコンソールポートに接続できます。

注：コンソールポートモードスイッチにアクセスするには、ボールペンチップなどの小さな先の尖ったオブジェクトを使用します。このスイッチは in 位置で出荷されます。

- **モード1** : スイッチはin位置にあります。RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバー ケーブルと (「 Terminal」 というラベルが付いた) DTE アダプタで端末をコンソール ポートに接続するには、このモードを使用します。RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバー ケーブルと (「Modem」 というラベルが付いた) DCE アダプタを使って、モデムをコンソール ポートに接続する場合にもこのモードを使用できます。「[コンソールポートモード1の信号とピン配置](#)」セクションを参照してください。
- **モード2** : スイッチはout位置にあります。Catalyst 5500/5000シリーズSupervisor Engine IIIコンソールストレートケーブルと端末接続用の適切なアダプタを使用して、端末をコンソールポートに接続するには、このモードを使用します。(ケーブルとアダプタは提供されません)。「[コンソールポートモード2信号とピン配置](#)」のセクションを参照してください

。

コンソール ポート モード 1 信号およびピン配置

このセクションでは、モード 1 のコンソール ポートの信号とピン配置について説明します。(ポートモードスイッチは in 位置です。)

- **DB-9 アダプタ (PC への接続用)** コンソールポートをターミナルエミュレーションソフトウェアが稼働するPCに接続するには、RJ-45-to-RJ-45ロールオーバーケーブルとRJ-45-to-DB-9メス型DTEアダプタ (「Terminal」 というラベルが付いています) を使用します。表I-1に、非同期シリアルコンソールポート、RJ-45-to-RJ-45ロールオーバーケーブル、およびRJ-45-to-DB-9メスDTEアダプタのピン配置を一覧します。

表I-1 : ポートモード1 : コンソールポートの信号とピン配置 (DB-9アダプタ)

コンソール ポート 信号	RJ-45-to-RJ-45ロールオーバーケーブル RJ-45 ピン	RJ-45-to-DB-9 ターミナル アダプタ RJ-45 ピン	RJ-45-to-DB-9 ターミナル アダプタ DB-9 ピン	コンソールポート 信号
RTS	11	8	8	CTS
DTR	2	7	6	DSR
送信D	3	6	2	RxD
GND	4	5	5	GND
GND	5	4	5	GND
GND	6	3	3	TxD
DSR	7	2	4	DTR
CTS	8 ¹	1	7	RTS

¹ピン1はピン8に内部接続されています。

- **DB-25 アダプタ (端末への接続用)** RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバー ケーブルと、 (「 Terminal」 ラベルが付いている) RJ-45-to-DB-25 メス型 DTE アダプタを使って、コンソール ポートを端末に接続します。表 I-2 には、非同期シリアル コンソール ポート、RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバー ケーブル、および RJ-45-to-DB-25 メス型 DTE アダプタのピン配置を掲載しています。

表I-2 : ポートモード1 : コンソールポートの信号とピン配置 (DB-25アダプタ)

コンソール ポート 信号	RJ-45-to-RJ-45ロールオーバーケーブル RJ-45ピン	RJ-45-to-DB-25 ターミナル アダプタ RJ-45 ピン	RJ-45-to-DB-25 ターミナル アダプタ DB-25ピン	コンソールポート 信号
RTS	11	8	5	CTS
DTR	2	7	6	DSR

TxD	3	6	3	RxD
GND	4	5	7	GND
GND	5	4	7	GND
RxD	6	3	2	TxD
DSR	7	2	20	DTR
CTS	8 ¹	1	4	RTS

¹ピン1はピン8に内部接続されています。

- **モデムアダプタ** RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバー ケーブルと、 (「Modem」 ラベルが付いている) RJ-45-to-DB-25 オス型 DCE アダプタを使って、コンソール ポートをモデムに接続します。表 I-3 に、非同期シリアル AUX ポート、RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバー ケーブル、および RJ-45-to-DB-25 オス型 DCE アダプタのピン配置を掲載します。

表I-3：ポートモード1：コンソールポートの信号とピン配置 (モデムアダプタ)

コンソール ポート 信号	RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバー ケーブル RJ-45 ピン	RJ-45-to-DB-25 モデム アダプタ RJ-45 ピン	RJ-45-to-DB-25 モデム アダプタ DB-25 ピン	モデム 信号
RTS	1 ¹	8	4	RTS
DTR	2	7	20	DTR
TxD	3	6	3	TxD
GND	4	5	7	GND
GND	5	4	7	GND
RxD	6	3	2	RxD
DSR	7	2	8	DCD
CTS	8 ¹	1	5	CTS

¹ピン1はピン8に内部接続されています。

コンソール ポート モード 2 の信号およびピン配置

このセクションでは、モード 2 のコンソール ポートの信号とピン配置について説明します (ポート モード スイッチは out 位置です)。ピン配置については、表 I-4 を参照してください。モード 2 には、端末を接続するのに標準の RJ-45 ストレート ケーブルを使用するオプションがあります。

表I-4：コンソールポートのピン配置 (ポートモードのスイッチ出力)

コンソール ポート ピン (信号)	コンソール デバイス 入出力
1 (RTS) 1	出力
2 (DTR)	出力
3 (RxD)	入力
4 (GND)	GND
5 (GND)	GND
6 (TxD)	出力
7 (DSR)	入力
8 (CTS) ¹	入力

¹ピン1はピン8に内部接続されています。

Catalyst スイッチのコンソール ポートへの端末接続に関するト

ラブルシューティング

コンソール接続を介したデバイスへの接続に問題がある場合は、次のタスクを実行します。

- ロールオーバー ケーブルまたはストレート ケーブルが良品であることを確認してください。(クロスケーブルは使わないでください。)
- PC に接続する DB-9 アダプタを交換してみてください。
- ターミナルエミュレーションソフトウェアの設定が9600ボー、8データビット、パリティなし、1ストップビットであることを確認します。また、フロー制御をハードウェアではなくnoneに設定してみてください。
- ロールオーバー ケーブルまたはストレート ケーブルが、Catalyst スイッチのコンソールポートに接続されていることを確認してください。ケーブルはAUXポートで終端しないでください。
- 別の PC または端末から Catalyst スイッチのコンソールポートに接続してみてください。

関連情報

- [Catalystスイッチのコンソールポートへのモデムの接続](#)
- [シスコテクニカルサポートおよびダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。